

1 肥満予防対策

本県は、脳血管疾患、心疾患、糖尿病などの生活習慣病による死亡率が全国平均より高い水準にあり、また、BMI 25以上の成人の肥満者の割合が、全国平均よりも高くなっていることから、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の概念を取り入れた健診・保健指導の充実を図るとともに、肥満予防対策を重点的に推進します。

<重点指標>

領域	指 標		基準値	現状値	目標値		
	項 目	区 分					
栄養・食生活	学齢期おやつの日1日のエネルギー摂取の減少		293 キロカロリー/日	324 キロカロリー/日	総摂取エネルギーの10%以内（200キロカロリー/日程度）		
	1日の野菜の摂取量の増加	学齢期（7～14歳）	154.3g/日	215g/日	250g/日以上		
		青少年期以降	289.3g/日	277g/日	350g/日以上		
	成人の脂肪エネルギー比率の減少	40歳未満	26.9%	25.8%	25%以下		
40歳以上		22.3%	22.4%	25%以下			
身体活動・運動	健康の維持・増進のために運動（身体活動）をする人の割合の増加		男性	41.5%	36.7%	70%以上	
			女性	40.4%	21.7%	70%以上	
歯の健康	むし歯のない幼児の割合の増加		1歳6ヶ月児	92.64%	95.21%	96%以上	
			3歳児	42.80%	55.97%	70%以上	
	20歳以上の自分の歯を有する人の割合の増加		75～84歳	18.18%	7.69%	20%以上	
			24歳以上の自分の歯を有する人の割合の増加	55～64歳	40.30%	52.94%	50%以上
	間食として甘味食品を頻回摂取する幼児の割合の減少		1歳6ヶ月児	27.3%	25.8%	20%以下	
毎日2回以上歯磨きをする人の割合の増加			57.76%	73.15%	80%以上		
糖尿病・循環器病	成人の肥満者の割合の減少（BMI及び腹囲を基準）		男性 ①BMI25以上で腹囲85cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ85cm以上	51.0% ①30.7% ② 1.8% ③18.5%	51.0% ①30.7% ② 1.8% ③18.5%	40%以下	
			女性 ①BMI25以上で腹囲90cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ90cm以上	29.0% ①14.5% ②10.0% ③ 4.5%	29.0% ①14.5% ②10.0% ③ 4.5%	25%以下	
	成人の肥満者の割合の減少（従来のBMI25以上を基準）		男性	37.3%	33.7%	25%以下	
			女性	38.2%	27.1%	20%以下	
	身体活動や運動による1日の消費エネルギーの増加			120～170 キロカロリー/日	120～170 キロカロリー/日 (2.5～3.7Ex)	200～250 キロカロリー/日程度 (3.6～5.6Ex程度)	
	健診受診者の増加			344,600人	371,241人	517,000人以上	
	内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予備群の推定数		男性* 女性*	80,000人** 38,000人**	80,000人** 38,000人**	10%減少 (平成20年度比)
		メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者の推定数		男性* 女性*	45,000人** 26,000人**	45,000人** 26,000人**	10%減少 (平成20年度比)
	健診・保健指導の実績	特定健診実施率		男性* 女性*	データがそろった時点で把握		68%
		特定保健指導実施率		男性* 女性*			45%

* 対象年齢は40～74歳です。

** 平成20年度を基準としますので、現状値は参考値として示しています。

<行動目標>

栄養・食生活

- (1) 学齢期の食に関する教育・指導の充実に努めます。
- (2) 肥満を予防するための食に関する実践教育に努めます。

身体活動・運動

- (1) すべての世代が、運動習慣の定着に努めます。
- (2) すべての世代が気軽に運動に取り組むために、環境の整備に努めます。

歯の健康

- (1) 8020運動を進めるため、歯の健康づくりを実践します。
- (2) 幼児のむし歯予防対策を推進します。

糖尿病

- (1) 糖尿病にかかわる健診を徹底します。

循環器病

- (1) 市町村及び職場は、健診受診率の向上を図ります。
- (2) 医療保険者は、特定健診の対象者に対して、特定健診・特定保健指導の実施に努めます。